

# 鳥獣被害 サルは対策に成功 シカ・イノシシは加工肉の普及を!

## 鳥獣被害対策の状況（津市、伊賀市、名張市）

三重県は鳥獣被害が全国でもトップクラスであり、その三重県のなかでも津・伊賀・名張市が特に被害が多い地域です。川崎二郎は地元の声を聞きながら鳥獣被害対策に努力をしてきました。その結果、平成19年に「鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」が成立。今国会では捕獲した食肉を食品に加工する設備充実、加工品の普及を盛りこむ改正案が成立しました。

上記法律により地方自治体は被害防止計画を作成しその効果は関係者の努力もあり徐々に現れています。特に被害が多い津・伊賀・名張では「鳥獣被害対策実施隊」を組織し活動をしています。ここ3年では、特に対策が難しかった「サル」に三重県が開発した大型捕獲檻を用いた、侵入防止柵の重点整備を行ない「サル」対策には著しい効果がでています。しかし、シカ・イノシシについては捕獲頭数に対して被害が増えています。今後、改正案にもりこまれた加工肉の普及をもってさらなる鳥獣被害の軽減を目指します。

### 獣種別捕獲頭数の推移

(単位:頭)

市	獣種	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
		有害	狩猟	計	有害	狩猟	計	有害	狩猟	計
津市	ニホンジカ	3,096	2,034	5,130	3,341	2,336	5,677	4,063	2,222	6,285
	イノシシ	786	652	1,438	1,053	803	1,856	1,295	767	2,062
	ニホンザル	80	0	80	77	0	77	225	0	225
	計	3,962	2,686	6,648	4,471	3,139	7,610	5,583	2,989	8,572
伊賀市	ニホンジカ	431	1,364	1,795	1,590	1,060	2,650	2,013	1,158	3,171
	イノシシ	249	764	1,013	614	887	1,501	346	599	945
	ニホンザル	81	0	81	470	0	470	132	0	132
	計	761	2,128	2,889	2,674	1,947	4,621	2,491	1,757	4,248
名張市	ニホンジカ	207	202	409	331	196	527	294	193	487
	イノシシ	44	98	142	95	186	281	88	119	207
	ニホンザル	11	0	11	7	0	7	22	0	22
	計	262	300	562	433	382	815	404	312	716

### 市町別、獣種別農業被害金額の推移

※特に被害の多い鳥獣3種のみの推移

(単位:千円)

市	平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	イノシシ	ニホンジカ	ニホンザル	イノシシ	ニホンジカ	ニホンザル	イノシシ	ニホンジカ	ニホンザル
津市	8,063	13,061	15,174	8,897	10,845	13,708	12,440	13,367	2,944
伊賀市	5,511	3,432	1,009	7,320	2,169	1,481	9,525	3,922	88
名張市	7,403	7,066	1,363	6,405	6,086	1,348	6,235	5,867	1,221

# 鳥獣被害 サルは対策に成功 シカ・イノシシは加工肉の普及を!

## 「津・伊賀・名張市の鳥獣被害対策実施部隊の活動内容」

○津市 平成24年3月19日設置 現隊員数 市職員25名

・平成28年4月、地域に寄り添った獣害対策に取り組む「獣害から農地を守るプロジェクト」の一環として、新たに、「津市獣害対策相談チーム」を設置し、以下の活動を展開しています。

① 見回り・相談・被害調査（4名）

二つの総合支所（美里・白山）に職員（再任用）各2名を配置。

職員が現地に出向き、各地域の獣害対策協議会等とともに集落が行う獣害対策の実施状況の確認・相談・被害調査を行っています。

② 市街地での獣出没時対応（1名）

狩猟免許所持者1名を臨時職員（本庁）として雇用し、獣の出没時の追い払い、見回りを行っています。

③ 被害防止対策（20名）

本庁農林水産政策課担当者（11名）、及び、各総合支所獣害担当者（9名）が、貸出檻の設置・管理、侵入防止柵の設置、各地域獣害対策協議会が取り組む捕獲等への支援を行っています。

○伊賀市 平成23年7月11日設置 現隊員数 市職員5名、一般隊員15名

・猟友会伊賀支部理事15名を一般隊員として任命し、地域毎に有害捕獲を推進しています。

有害捕獲頭数の推移 761頭（平成25年）

2,674頭（平成26年）

2,491頭（平成27年）

### 【参考】

伊賀市は、平成26年度までに、被害の多い箇所を中心に、侵入防止柵の整備を進めており、県内でも先進的に柵整備が進んでいる地域となっています。

また、県農業研究所と連携し、ICTを活用した大型捕獲檻によるサルやシカの大量捕獲技術の実証に取り組んでいます。

○名張市 平成24年3月28日設置 現隊員数 市職員4名

・職員4名全員が狩猟免許を所有し、捕獲に取り組んでいます。

・名張市に遊動域を持つサル2群に対し、全頭捕獲、部分捕獲を実施し、サル被害の大幅な軽減を実現しています。

・地域の追い払い力強化のための研修会の実地をしています。

・近隣の奈良県宇陀市と共に、モンキードッグ(追い払い犬)の育成を行っています。